

令和元年度 モニタリング評価実施による改善のための対応方針等

評価項目	評価基準	評価委員の指摘・提言等	改善のための対応方針	次年度以降の事業計画等への反映内容
<p>(3)公園エリアの賑わいづくり・観光拠点化に向けた方策 文化・観光拠点形成・発信の取組みは適切に実施されたか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インバウンドを増やすための効果的な投資</li> <li>・観光拠点形成に向けた集客性が高く継続性のある事業</li> <li>・文化・芸術活動を行う場としての利活用</li> <li>・多数の方が訪れる観光拠点とするための広報戦略</li> </ul>	<p>【施設所管課の評価】 ○WONDER BOXについては、早急に代替案を整理し、次年度以降早期に着手できるよう速やかに検討を進められたい。</p> <p>【評価委員の指摘・提言】 WONDER BOXへの投資は、文化観光拠点形成の主要な提案であり、集客・魅力発信の大きな役割を果たすものとして提案されていたことから、その実施を変更することは、重く受け止めるべきである。代替計画については、文化観光拠点にふさわしい、万博公園そのものが持つ良さを引き出せるようなコンテンツの検討を早急を実施し、速やかに計画のリカバリーを図られたい。</p>	<p>当初計画のワンダーボックスプロジェクトは、日本庭園エリアを中心とした魅力創出へと振り替え、新たな文化観光拠点形成・発信の取り組みとして位置付けます。</p>	<p>バラ園を含む「日本庭園前の無料エリア」、「回遊の妨げとなっていた日本庭園前ゲートのチェックポイント」、「閉塞感があり利用者を遠ざけていた日本庭園正門」を撤廃し、自然文化園と日本庭園の一体化を行う。これらの取り組みによりゴールデンルートを活かした運営を実現し、お客様の回遊性の向上を図る。また、日本庭園を日本古来の伝統文化と日本庭園を楽しんで頂くための体験型デジタルコンテンツを融合させた日本文化体験のプラットフォームへとリニューアルし、インバウンドを含めた全てのお客様が、必ず訪問したくなる観光拠点化を推進し、国内外に発信していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●日本庭園に来園者を引込むゴールデンルートの確立(太陽の塔～バラ園・藤棚～日本庭園)</li> <li>●日本庭園の施設魅力化</li> <li>●日本庭園の魅力を最大限引き出すコンテンツ創造</li> </ul>